



設定マニュアル

RadiForce® MX194DD

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの設定マニュアルおよび取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

- ・モニターの設置 / 接続については取扱説明書を参照してください。
- ・設定マニュアルを含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。

www.eizo.co.jp

-
-
- 1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
 - 2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
 - 3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
 - 4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-
-

目次

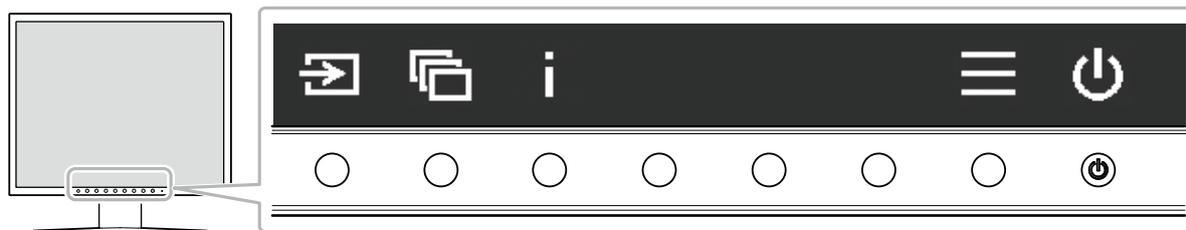
目次	3
第1章 基本の調整 / 設定	4
1-1. ボタンの操作方法	4
1-2. 入力信号を切り替える	5
1-3. 表示モード（CAL Switchモード）を切り替える	5
1-4. モニター情報を表示する	6
第2章 詳細な調整 / 設定	7
2-1. 設定メニューの基本操作	7
2-2. 設定メニューの各機能	9
● CAL Switch Mode	9
● 信号設定	12
● 本体設定	13
● 言語選択	14
● インフォメーション	14
第3章 管理者向け設定	15
3-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法	15
3-2. 「管理者設定」メニューの各機能	16
● 起動ロゴ	16
● 操作ロック	16
● DP Power Save	16
● 階調表示警告	16
第4章 こんなときは	17
4-1. 画面が表示されない場合	17
4-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）	17
4-3. 画面に関する症状（アナログのみ）	18
4-4. その他の症状	18
第5章 ご参考に	19
5-1. オプションアーム取付方法	19
5-2. 主な初期設定値	20
付録	21
商標	21
ライセンス	21

第1章 基本の調整 / 設定

1-1. ボタンの操作方法

1. 操作ガイドの表示

いずれかのボタンを押します（を除く）。
画面に操作ガイドが表示されます。



表示	機能
	電源のオン / オフを切り替えます。
	設定メニューを表示します。設定メニューでは、モニターの詳細な設定をおこないません。
	モニター情報を表示します。
	表示モードを切り替えます。
	入力信号を切り替えます。
 	項目を選択します。
	選択した内容を確定します。
	選択をキャンセルします。

2. 調整 / 設定

1. 設定したいアイコンのボタンを押します。
メニューが表示されます。
2. 各ボタンで設定します。必要に応じて  を選択して確定します。

3. 終了

 を選択してメニューを終了します。

参考

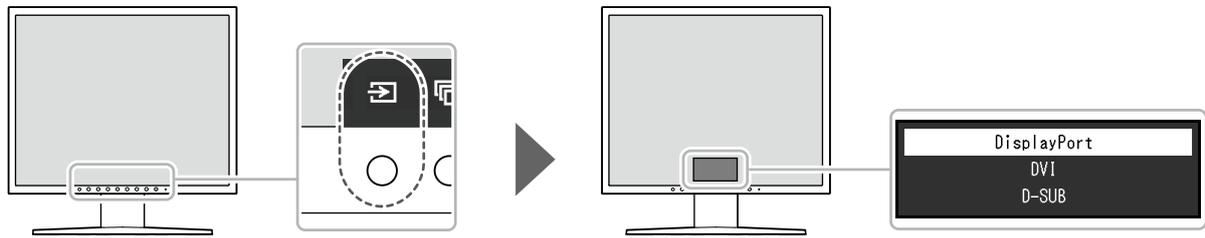
- ・数秒間ボタンを操作しないと、メニューおよび操作ガイドが自動的に終了します。

1-2. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。

 を選択するたびに画面に表示する信号のコネクタが順に切り替わり表示されます。

メニュー表示中は、 または  を選択してモードを切り替えることもできます。



参考

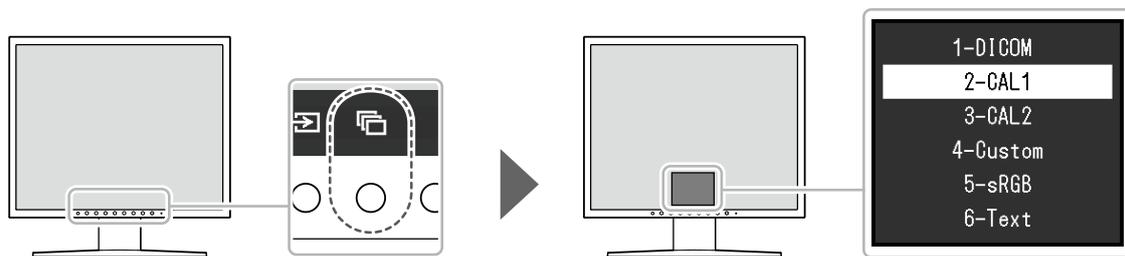
- 2台以上のコンピュータを接続している場合、 を選択することで画面に表示するコンピュータを切り替えることができます。

1-3. 表示モード（CAL Switchモード）を切り替える

モニターに表示する内容に応じて、表示モードを簡単に切り替えることができます。

 を選択するたびに表示モードが順に切り替わり表示されます。

メニュー表示中は、 または  を選択してモードを切り替えることもできます。

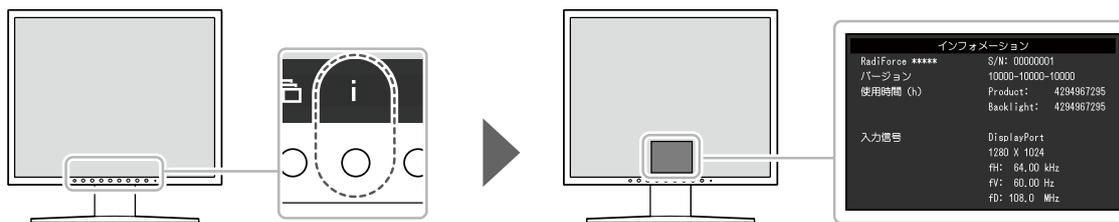


○：キャリブレーション可能

モード	目的	
1-DICOM	DICOM® Part 14 に準拠している階調特性で表示することができます。	○
2-CAL1	キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示します。	○
3-CAL2		○
4-Custom	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。	—
5-sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。	—
6-Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。	—

1-4. モニター情報を表示する

モニターの情報（製品名、製造番号、使用時間、入力信号）を確認できます。



第2章 詳細な調整 / 設定

この章では、「設定メニュー」を使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。

2-1. 設定メニューの基本操作

1. 設定メニューの表示

1. 操作ガイドから  を選択します。
設定メニューが表示されます。



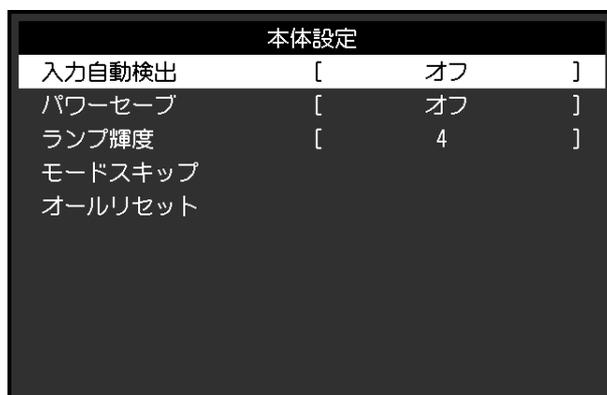
2. 調整 / 設定

1.   で、調整 / 設定したいメニューを選択し、 を選択します。



詳細メニューが表示されます。

2.   で、調整 / 設定したい項目を選択し、 を選択します。



調整 / 設定メニューが表示されます。

3. ◀▶ で、調整 / 設定し、☑ を選択して確定します。



3. 終了

✕ を数回選択し、設定メニューを終了します。

2-2. 設定メニューの各機能

参考

- 誤操作や意図しない設定の変更により、意図せずモニターの表示状態が変更される場合があります。モニターの調整 / 設定後は、操作ボタンをロックした状態でのご使用をお勧めします。設定方法の詳細は、「[操作ロック](#)」(P.16) を参照してください。

● CAL Switch Mode

CAL Switch Mode (Custom)		
モード	[Custom]
ブライトネス	[100]
コントラスト	[50]
色温度	[オフ]
ガンマ		
色合い		
色の濃さ		
ゲイン		
リセット		

モード

モニターに表示する内容に応じてCALSwitchモード（表示モード）を切り替えることができます。各表示モードの特長は「[1-3. 表示モード（CAL Switchモード）を切り替える](#)」（P.5）を参照してください。

設定範囲

DICOM、CAL1、CAL2、Custom、sRGB、Text

調整できる機能は、表示モードにより異なります。

○：調整可 ー：調整不可

機能名	CAL Switch Mode					
	DICOM	CAL1	CAL2	Custom	sRGB	Text
ブライトネス	○	○	○	○	○	○
コントラスト	ー	ー	ー	○	○	○
色温度	ー	ー	ー	○	○	○
ガンマ	ー	ー	ー	○	○	○
色合い	ー	ー	ー	○	○	○
色の濃さ	ー	ー	ー	○	○	○
ゲイン	ー	ー	ー	○	○	○
リセット	○	○	○	○	○	○

注意点

- 品質管理のための各種試験やキャリブレーション、モニターの画面調整は電源を入れた後、またはパワーセーブモードから復帰して30分以上経過してからおこなってください。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください（「[自動レンジ調整](#)」（P.12）参照）。
- モニターにはそれぞれ個体差があります。アナログ信号の場合、同一画像を複数台のモニターに並べて表示すると、同一画像であっても異なる色に見ることがあります。複数台のモニターの色を合わせるときは、レンジ調整をおこなってください（「[自動レンジ調整](#)」（P.12）参照）。

ブライツネス

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0%～100%

参考

- ・ ブライツネスが100%でも暗いと感じる場合は、コントラストの値を大きくしてください。
-

コントラスト

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0%～100%

参考

- ・ コントラストを100%にした場合に、すべての色階調が表示されます。
 - ・ 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライツネスで調整することをお勧めします。
 - ・ コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
 - ブライツネスが0%でも画面が明るいと感じたとき。
-

色温度

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するとき用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

Native、6000K～15000K（100K単位）、sRGB

参考

- ・ 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
 - ・ 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「[ゲイン](#)」(P.11) 参照）。
 - ・ 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。
 - ・ ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。
-

ガンマ

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.6～2.7、sRGB

色合い

色合いを調整します。

設定範囲

-100～100

参考

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

色の濃さ

色の濃さを調整します。

設定範囲

-100～100

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

参考

- ・最小値 (-100) で白黒の画面となります。
-

ゲイン

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0%～100%

注意点

- ・この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
-

参考

- ・色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
 - ・ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
-

リセット

現在選択している表示モードの設定値を初期設定に戻します。

● 信号設定

アナログ信号入力時（D-Subケーブル接続時）に、画面のちらつき、表示位置、サイズを調整できます。

自動画面調整

画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整することができます。

「自動画面調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。

参考

- 自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
 - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
 - 壁紙など背景を黒で使用している場合
- また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
- モニターに初めて信号を入力した場合、またはこれまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合は、自動的に調整されます（解像度が800 × 600以上の信号のみ）。

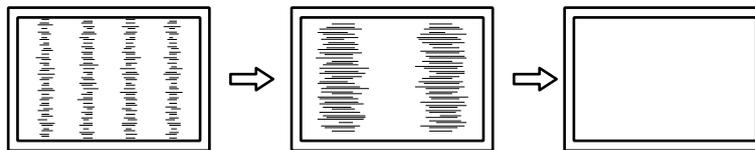
自動レンジ調整

調整信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0～255）を表示できるように自動調整できます。

「自動レンジ調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。

クロック

画面の縦線や画面の一部に見られるちらつきを軽減できます。

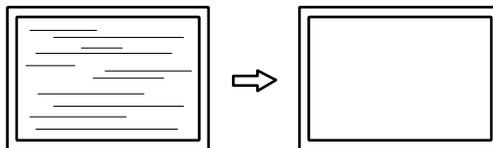


参考

- 設定が合ったポイントを見逃しやすいので、▲▼を使って細かく調整してください。

フェーズ

画面全体のちらつきやじみを軽減できます。

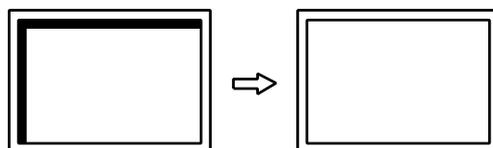


参考

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。
- 設定後、画面に縦縞が現れた場合は、再度「クロック」を調整してください。

水平ポジション / 垂直ポジション

ずれた状態で表示された画像の表示位置（水平、垂直）を調整できます。



● 本体設定

本体設定		
入力自動検出	[オフ]
パワーセーブ	[オフ]
ランプ輝度	[4]
モードスキップ		
オールリセット		

入力自動検出

信号が入力されているコネクタを自動で判別し、画面に表示することができます。

設定範囲

オン、オフ

設定	機能
オン	信号が入力されているコネクタを自動で判別し、画面に表示します。 複数のコンピュータを接続している場合に、画面に表示しているコンピュータが省電力モードに入ったり電源が切れたりすると、自動的に他の信号を表示します。
オフ	信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択しているコネクタの信号を表示します。  で表示させたい入力信号を選択してください。詳細は「 1-2. 入力信号を切り替える 」(P.5) を参照してください。

参考

- 電源ケーブルを接続しなおした場合、設定内容に関わらず信号が入力されているコネクタの信号が表示されます。
- 「オン」が選択されている場合は、すべてのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

パワーセーブ

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

設定範囲

オン、オフ

設定	機能
オン	コンピュータの状態と連動して、モニターを省電力モードに移行します。
オフ	コンピュータや信号入力の状態にかかわらず、省電力モードには移行しません。

参考

- モニターを使用しないときは、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。
- 信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。

ランプ輝度

画面表示時の電源ランプ（緑）の点灯/消灯の切り替えができます。値が大きいほど電源ランプは明るく点灯し、小さいほど暗くなります。「オフ」では電源スイッチのランプは消灯した状態です。

設定範囲

1~7、オフ

モードスキップ

表示モードを選択するときに、特定のモードを無効（スキップ）にすることができます。選択できる表示モードを限定したい場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。

「モードスキップ」を選択すると、すべての表示モードが表示されます。無効にする表示モードを選択し、「スキップ」を選択してください。

注意点

- すべてのモードを無効（スキップ）にすることはできません。1つ以上のモードを「-」（表示）に設定してください。

オールリセット

すべての設定内容を初期設定に戻します（入力信号、「管理者設定」メニューは除く）。

● 言語選択

設定メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、繁体中国語

● インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号、使用時間、入力信号）を確認できます。

例：

インフォメーション	
RadiForce ****	S/N: 00000001
バージョン	10000-10000-10000
使用時間 (h)	Product: 4294967295 Backlight: 4294967295
入力信号	DisplayPort 1280 X 1024 fH: 64.00 kHz fV: 60.00 Hz fD: 108.0 MHz

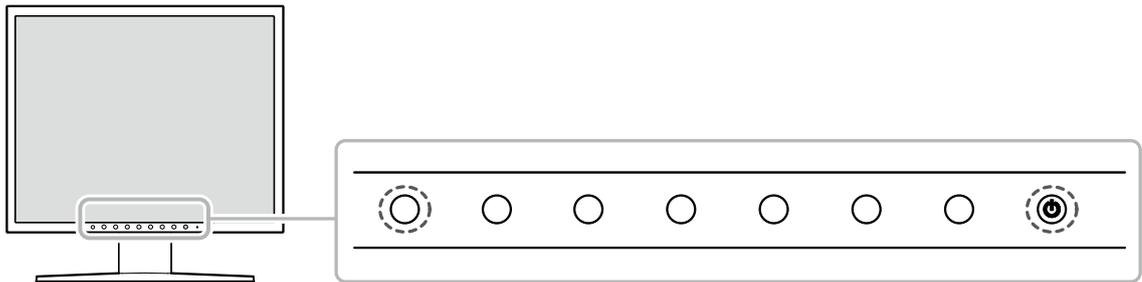
第3章 管理者向け設定

この章では、「管理者設定」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。
このメニューは管理者用です。通常のモニター使用時には、設定の必要はありません。

3-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1.  を押して、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のボタンを押しながら、 を2秒以上押してモニターの電源を入れます。



「管理者設定」が表示されます。

管理者設定	
起動ロゴ	[オフ]
操作ロック	[オフ]
DP Power Save	[オフ]
階調表示警告	[オン]
完了	

2. 設定

1.   で、設定したい項目を選択し  を選択します。
調整 / 設定メニューが表示されます。
2.   で、設定し、 を選択します。
「管理者設定」メニューが表示されます。

3. 確定と終了

1. 「完了」を選択し、 を選択します。
設定が確定し、「管理者設定」メニューが終了します。

3-2. 「管理者設定」メニューの各機能

● 起動ロゴ

モニター起動時のEIZOロゴの表示、非表示を選択することができます。

設定範囲

オン、オフ

● 操作ロック

調整、設定した状態を変更できないようにします。

設定範囲

オフ、メニュー、オール

設定	ロックできる機能
オフ	なし（すべてのボタンが有効）
メニュー	設定メニューでの調整、設定
オール	⏻を除くすべてのボタン

● DP Power Save

コンピュータをDisplayPort™コネクタに接続している場合、パワーセーブモードであってもDisplayPortの通信が有効なため、消費電力が高くなります。「DP Power Save」を「オン」にすると、パワーセーブモード時の通信を無効にし、パワーセーブ時の消費電力をセーブすることができます。

設定範囲

オン、オフ

注意点

- ・「オン」を選択した場合、電源のオフ/オン時、およびパワーセーブモードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれることがあります。その場合は、この機能を「オフ」に設定してください。

● 階調表示警告

推奨解像度でDisplayPort信号を入力した時に、6bit（64階調）の信号が検知されたことを知らせる、階調表示エラーメッセージを表示することができます。エラーメッセージが表示された場合は、モニターの電源コード接続しなおしてしてください。それでも解決しない場合は、コンピュータおよびグラフィックスボードの設定を確認してください。

設定範囲

オン、オフ

注意点

- ・通常は「オン」でご使用ください（出荷設定は「オン」です）。
- ・6bit（64階調）で使用する場合のみ、「オフ」にしてください。

第4章 こんなときは

4-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> 電源ランプが点灯しない 電源ランプが点灯：緑色 電源ランプが点灯：橙色 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードは正しく接続されていますか。 Ⓜを押してください。 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください。（「CAL Switch Mode」(P.9) 参照）。 Ⓜで入力信号を切り替えてみてください。 マウス、キーボードを操作してみてください。 コンピュータの電源は入っていますか。 コンピュータをDisplayPortコネクタに接続している場合に、この症状が発生することがあります。モニターの電源コードを接続しなおす、またはコンピュータを再起動してください。
2. 次のようなメッセージが表示される <ul style="list-style-type: none"> 信号が入力されていない場合の表示です。例： 	<p>この表示はモニターが正常に機能しているも、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 コンピュータの電源は入っていますか。 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 Ⓜで入力信号を切り替えてみてください。 コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（取扱説明書「対応解像度」参照）。 コンピュータを再起動してみてください。 グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。



4-2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください。（「CAL Switch Mode」(P.9) 参照）。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZOメンテナンスセンターにご相談ください。）
2. 文字がぼやけて見える	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（取扱説明書「対応解像度」参照）。
3. 残像が現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る	<ul style="list-style-type: none"> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを選択した跡が消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。

4-3. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
<p>1. 画像がずれている</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「水平ポジション」および「垂直ポジション」で画像の位置を合わせてください（「水平ポジション/垂直ポジション」（P.12）参照）。 グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
<p>2. 次画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「クロック」で調整してみてください（「クロック」（P.12）参照）。
<p>3. 画面全体がちらつく、にじむように見える</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「フェーズ」（P.12）参照）。

4-4. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「操作ロック」（P.16）参照）。
2. 自動調整機能が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 この機能はWindowsなど表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
3. USBケーブルで接続したモニターが認識されない	<ul style="list-style-type: none"> USBケーブルは正しく接続されていますか。 コンピュータを再起動してみてください。 ご使用のコンピュータおよびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。 Windowsをご使用の場合、コンピュータに搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細はコンピュータの取扱説明書を参照してください）。

第5章 ご参考に

5-1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100 mm×100 mm
 - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、取り付けには次のねじをご使用ください。
 - 本体部分とスタンドを固定しているねじ
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
 - 上45°下45°
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニターおよびアームまたはスタンドを落としたりすると、けがや故障の原因となります。
- 定期的になじみの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニターが外れ、けがや故障の原因となります。
- 縦置きに設置する場合は、モニター画面を時計回りに90°回転した状態で設置してください。

取付方法

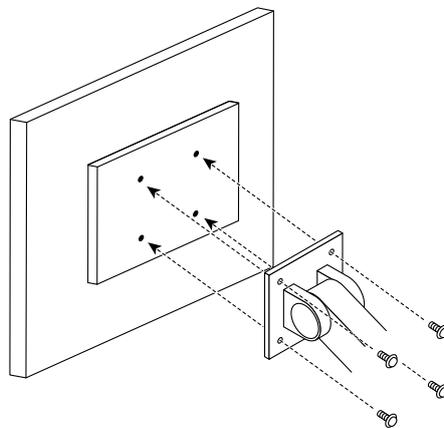
1. パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじを取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

手順2で取り外したねじを使用して、アーム（またはスタンド）を取り付けます。



5-2. 主な初期設定値

CAL Switch Mode：工場出荷時の表示設定は「1-DICOM」です。

モード	輝度	色温度	ガンマ値
1-DICOM	180 cd/m ²	7500 K	DICOM GSDF
2-CAL1	180 cd/m ²	7500 K	2.2
3-CAL2	120 cd/m ²	7500 K	DICOM GSDF
4-Custom	約300 cd/m ²	7500 K	2.2
5-sRGB	約250 cd/m ²	sRGB	sRGB
6-Text	約100 cd/m ²	6500 K	2.2

その他

入力自動検出	オフ
パワーセーブ	オン
ランプ輝度	4
モードスキップ	- (すべて表示)
言語	日本語
起動ロゴ	オフ※1
操作ロック	オフ※1
DP Power Save	オフ※1
階調表示警告	オン※1

※1 「オールリセット」 (「オールリセット」 (P.14) 参照) を実行しても初期設定値には戻りません。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPort、DisplayPortコンプライアンスロゴはVideo Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i-Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の登録商標または商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

この製品に使用されているオープンソースソフトウェアのライセンス情報はwww.eizoglobal.com/support/oss/に掲載されています。

